

「令和3年度 園長研究協議会」報告書

【期 日】令和4年2月18日（金）

【会 場】ロイヤルチェスター佐賀（ロイヤルホール4階）

【主 催】佐賀県保育会

【後 援】佐賀県

【参加者数】111名（集合33名・オンライン78名）

【内 容】



①12:30～14:00

『行政説明（令和4年度予算(案)、施設監査等について）』

講師 かとう しんや 加藤 慎也 氏 ・ こが まいこ 古賀 舞子 氏

（佐賀県 健康福祉部 男女参画・こども局 こども未来課 保育幼稚園担当）



1. 新型コロナウイルス感染症について

保育園・こども園の現在の感染状況報告や、感染予防対策を引き続き行ってほしいとの事を説明された。

2. 令和4年度当初予算（案）について

国が示している予算とその内容についての説明があった。（処遇改善等加算Ⅱ、新型コロナウイルス感染症対策、保育環境改善事業、保育所整備交付金、保育体制強化事業、ICT化推進等事業等々）

3. 公定価格の対応について

新型コロナウイルス感染症対策として令和4年2月からの給与を3%程度（月額9,000円）引き上げるための措置を実施。

4. 施設監査について

令和3年度の監査で指摘事項が特に多かった項目を通達された。(自己評価未作成、就業規則、給与規定等の不備、年次有給消化5日取得、消火訓練の実施等々)

5. 保育幼児教育センターについて

県が行う、保育の質の向上のための事業説明を行った。(保育参観による助言、園内研修の講師派遣、各種相談の対応等々)

6. 幼児教育・保育に係る各市町の取組状況について(令和3年度)

各市町が行っている子ども・子育て支援事業を項目別に示された。

②14:15～15:45

『これからの保育、誰もがたのしむ保育』オンライン ～令和元年東日本台風からでも保育を楽しむ～

講師 ほり まさひろ 堀 昌浩 氏 (認定こども園さくら 園長)



令和元年東日本台風での自園が被災された、その状況を克明に伝えられ、その後職員が一体となり、どうやって園を立て直していったかを説明された。

Society5.0についての説明があった。22世紀を生きるこれからの世代のこども達は、新しい社会を創造しなければならない世代になる。そのため「生きる力」に必要なことは、非認知能力を伸ばすことや、乳幼児期の終わりまでに育ててほしい具体的な姿を認識してほしい。

その他、Learning Journeyについての説明があった。人が関わる全ての「幸せ」を共有・共感できる学びのステージであること。6つのポイントとして、子どもの「夢」や「願い」から出発し、大人はそれに参加する、無から有を生み出す、偶然性や失敗を楽しみ、次に生かす等々。

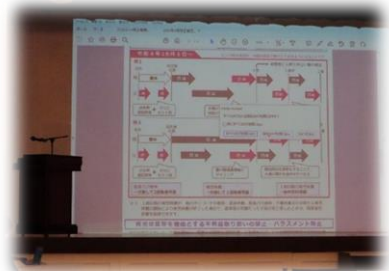
さらには、自己肯定感を高めるためにはといった内容や、子ども主体の保育とはといった内容の説明があった。

③16:00～17:30

『働き方改革について』～働きやすい職場環境整備のために～

講師 そえじま いずみ 副島 泉 氏

(社会保険労務士法人いずみ 特定社会保険労務士)



働き方改革関連法及び令和4年4月施行法令のポイントの説明があった。

1. 労働基準法関係

年次有給休暇の確実な取得、時間外労働の上限規制、インターバル勤務制度

2. パートタイム有期雇用労働法・労働者派遣法関係

同一労働同一賃金

3. 令和4年4月施行法律への対応

パワーハラスメント対策、育児介護休業法

④17:30～18:00

『保育制度の矛盾点と今後の園への影響について』

講師 ^{よしおか しんたろう} 吉岡 伸太郎 氏

(全国保育推進連盟幹事長、社会福祉法人おひさま会 専務理事)



1. 人口減少社会における保育はどうなっていくか

日本の人口推移を紹介されながら、今後の保育のあり方を紹介された。また、国においても新子育て安心プランの概要の中で、人口減少地域の保育の在り方の検討に取り組み始めた。

2. 保育の質の向上について

人口減少地域においても、質の高い保育は必要である。それには、施設の安定的課題も重要になってくる。課題の例として、園児の確保・収入の安定・保育人材の確保等求められる。

3. 保育制度の現状の課題

- ・施設の開所時間と職員の労働時間との問題
- ・保育士配置における現実とのギャップ
- ・職員の配置基準

(文責：佐賀県保育会会長 指山健次郎)